

# 3504 のワイヤレス LAN コントローラ 温度 Q&A

## 目次

### [はじめに](#)

[Q. 3504 WLC のための受諾可能な温度とは何か。](#)

[Q. どのようにコントローラ 温度をチェックしますか。](#)

[Q. ファンはなぜついていませんか。 どのようにファン速度を変更しますか。](#)

[Q. 過熱することの現象とは何か。](#)

[Q. 過熱することを避ける方法か。](#)

[Q. コントローラのシャーシはなぜタッチに熱いですか。](#)

[Q. いった TAC ケースをオープンする必要がありますか。 ケースをオープンした場合どんな情報が提供する必要がありますか。](#)

## 概要

Cisco 3504 ワイヤレス LAN コントローラ ( WLC ) は中間配備のための小さい形式要素 コントローラです。 意味するオフィス環境を念頭において作成され一般に静か、に人目につかなくとどまることを、ファンをできるだけ他の WLC モデルとは違って保存します。

この技術情報はいくつかの顧客からのもっとも一般的な質問 Cisco TAC gets の返事によって 3504 WLC の温度、過熱することおよびファン速度についての外観が示されます。 テストは 8.9 イメージおよび MacOS 10.14 を実行する 3504 WLC で実行された。

## Q. 3504 WLC のための受諾可能な温度とは何か。

A. 3504 WLC のための 5 つの重要な温度があります。 最小および最大値および説明は表うなり声で見つけることができます:

Temperature	最小	最大	説明
内部 温度	-10°C ( 14°F )	80°C ( 176°F )	半導体素子の温度自体
外部温度	-10°C ( 14°F )	71°C ( 160°F )	デバイスのシャーシの中の温度
mGig ポート 温度	- 10°C ( 14 °F )	+71°C ( 160°F )	mGig ポート ( 5 ) ポートの温度
動作温度	0°C ( 32°F )	40°C ( 104°F )	WLC がはたらいっている環境の温度。 この温度は WLC のデータシートで述べられます。 内部 温度と混合されないため。 コントローラはこれを測定することをできません。
保管温度	-20°C ( - 4°F )	70°C ( 158°F )	WLC がそれに動力を与えないで保存することができ

る温度。

WLC の最も大きい影響がある温度は WLC 半導体素子の内部 温度です。デフォルトで、ファンは長い温度が表で述べられる制限の間で保存される ~80°C.As に、WLC 問題を持たないはずである達するまでつきません。テスト コントローラーはずっと問題なしで消えるファンによって月の 75°C 頃動作しています。

内部なら、外部または mGig ポート 温度、WLC の機能性は制限の外で大幅に低下できます行きます。その当時コントローラーがそれでもあれば、アラーム/トラップ ログは温度が制限にあること規定を離れて行きます。

## Q. どのようにコントローラー 温度をチェックしますか。

A. WLC 温度をチェックする 3 つの方法があります:

1. Webインターフェイスから
2. CLI から
3. SNMP クエリの使用

1. 内部 コントローラーおよび Webインターフェイスからの mGig ポート 温度をチェックするために、Advanced->Monitor タブに行ってください:

The screenshot shows the Cisco WLC Monitor page. The 'Controller Summary' table is highlighted with a red box, showing the following data:

Parameter	Value
Internal Temperature	+78 C
Mgig Temperature	+61 C

The 'Access Point Summary' table below it shows the status of various radios:

Radio Type	Total	Up	Down
802.11a/n/ac/ax Radios	0	0	0
802.11b/g/n/ax Radios	0	0	0
Dual-Band Radios	0	0	0
All APs	0	0	0

2. 内部 温度を、mGig ポートの外部温度および温度はコントローラーにチェックするために、コンソール/ssh/Telnetセッションを確立します。show sysinfo コマンドの出力はコントローラーの温度を与えたものです:

```
(Cisco Controller) >show sysinfo
```

```
Manufacturer's Name..... Cisco Systems Inc.
```

```

Product Name..... Cisco Controller
Product Version..... 8.9.4.41
RTOS Version..... 8.9.4.41
Bootloader Version..... 8.5.103.0
Emergency Image Version..... 8.5.103.0

OUI File Last Update Time..... N/A
Build Type..... DATA + WPS

System Name..... Cisco-cc70.ed14.0e22
System Location.....
System Contact.....
System ObjectID..... 1.3.6.1.4.1.9.1.2427
Redundancy Mode..... Disabled
IP Address..... 10.48.39.235
IPv6 Address..... ::
Last Reset..... Soft reset due to RST_SOFT_RST write
System Up Time..... 14 days 3 hrs 37 mins 39 secs
System Timezone Location.....
System Stats Realtime Interval..... 5
System Stats Normal Interval..... 180

Configured Country..... Multiple Countries : BE,SG
Operating Environment..... Commercial (10 to 35 C)
Internal Temp Alarm Limits..... -10 to 80 C
Internal Temperature..... +78 C
Mgig Temp Alarm Limits..... -10 to 78 C
Mgig Temperature..... +61 C
External Temp Alarm Limits..... -10 to 71 C
External Temperature..... +53 C
Fan Status..... OK
Fan Speed Mode..... Disable

```

3. コントローラの温度はまた SNMP によって得ることができます。内部温度の Object ID (OID) は 1.3.6.1.4.1.14179.2.3.1.13 です。WLC にコミュニティ「private」のためにデフォルトで有効になった SNMP バージョン 2 があります。コマンド snmpwalk はほとんどの Linux デイストリビューションおよび MacOS からネイティブで動作しましたある場合もあります。コントローラは摂氏次数の整数値情報と応答します。

```

VAPEROVI:~ vaperovi$ snmpwalk -v2c -c private 10.48.39.235 1.3.6.1.4.1.14179.2.3.1.13
SNMPv2-SMI::enterprises.14179.2.3.1.13.0 = INTEGER: 70

```

## Q. ファンはなぜついていませんか。どのようにファン速度を変更しますか。

A.デフォルトで、3504 WLC ファンは内部温度が 80°C に達しなければつきません。こうすればは、コントローラ滞在静まり、オフィス環境で使用することができます。ノイズが問題ではないし、低温が優先順位なら、ファン速度はコマンド `テストシステムファン <speed>` を使用して CLI から変更することができます。それはデフォルトおよび off モードと共に 2 つの速度を、提供します:

```

(Cisco Controller) >test system fan ?

<State Number> Give state number: 0->Default 1->Full Speed 2->Low Speed 3->Disable

(Cisco Controller) >test system fan 1

Starting FAN Diagnostics.

```

Mode of fan set to :Full Speed

Status of fan read from cpld register: Full Speed

**重要：** 8.8.110 現在で、このコマンドは今でも内部テスト コマンドだけであり、WLC がリブートされるたびに再適用されなければなりません。機能拡張 不具合がありますコントローラの Web インターフェイスを通してファン速度のより多くの制御を提供することを向ける。それは[ここ](#)に見つけることができます。

## Q. 過熱することの現象とは何か。

A. 過熱するとき、結果は予測不可能である場合もあります。Cisco TAC は過熱することによって引き起こされる再発生事柄のカップルに注意しました:

- コントローラ ( 鐘サインとの者 ) の右側のアラーム LED は橙色カラーで点滅し始めます
- コントローラはランダムに コンソールアクセスはまだはたらくがそれがリブートされるまで到達不能になります、
- 半導体素子はそれがリロードします断熱システム制限に達します

## Q. 過熱することを避ける方法か。

A. 3504 WLC の過熱させを避ける方法のカップルがあります:

- ファン速度を手動で高速化して下さい ( 上で説明される )
- rack/on できちんとコントローラをデスク マウントします
- WLC 脱熱器を指す追加ファンをマウントして下さい

Cisco に 3504 WLC 温度規則およびエアフローのために重大である上部のホール メッシュがあります。その上に何でも置く Avoid それの上の WLC とデバイスの間の少なくとも 3cm があることを確かめ。さらに、エアフローを増加するために脱熱器を指している外部ファンを WLC の背部に置くことができます。



## Q. コントローラのシャーシがタッチに熱い理由

A. デバイスのシャーシはデバイスの背部で正常な動作の間に、特に脱熱器触れるために熱いです。それに触れる Avoid。温度が制限の間で保存される限り、WLC オペレーションおよび寿命は影響を受けていません。

## Q. いつ TAC ケースをオープンする必要があるですか。 ケースをオープンした場合どんな情報が提供する必要があるですか。

A. TAC ケースは状況を次必要があります:

- ファンはまったくついていません
- コントローラは最高速度のファンとの受諾可能な環境温度で操作している間過熱しています
- 温度アラームは WLC のすべての温度がうなり声制限であるのに消えています

Cisco TAC のケースをオープンした場合、問題の説明の情報の後で提供することを確かめて下さい:

- 稼働環境の WLC のピクチャ
- の出力は WLC CLI からの `traplog`
- Cisco Prime Infrastructure か syslog サーバから消えるアラームのスクリーン ショットがログ
- TAC エンジニアを考えるとどのその他の情報でも有用見つけるかもしれません